Roland

PERSONAL MONITOR

PM-10

取扱説明書

このたびは、パーソナル・モニター PM-10 をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P. 2、3）と「使用上のご注意」（P. 4）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

● **V-Drums 専用パーソナル・モニター**
PM-10 は Roland「V-Drums」のドラム音源にマッチしたパワード・モニターです。専用の V-DRUMS INPUT を装備し、「V-Drums」の音をあますところなく表現します。

● **パワフル・サウンド**
コンパクトでありながら、コアキシャル（同軸）2 ウェイの 10" スピーカーによりパワフルな音を再生します。

● **多機能入力**
ドラム音源以外にも、CD/MD プレーヤーなどをつないで鳴らすことができる LINE INPUT も装備しています。

● **可搬性**
持ち運びに便利なハンドル・バーを装備しています。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意：　感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

● この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

● この機器を分解したり、改造したりしないでください。

● 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

● 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠警告

● 次のような場所での使用や保存はしないでください。

○ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
○ 雨に濡れる場所
○ ホコリの多い場所
○ 振動の多い場所

● この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。

● 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠警告

- 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。

  ○ 電源コードやプラグが破損したとき
  ○ 煙が出たり、異臭がしたとき
  ○ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  ○ 機器が（雨などで）濡れたとき
  ○ 機器に異常や故障が生じたとき

- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

⚠注意

- この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

- 電源コードを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

- この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

- お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。

- 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

- 天面パネルは高温になりますので、やけどしないよう注意してください。

使用上のご注意

2、3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 電源スイッチを切った後、本機上の LCD や LED などは消えますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

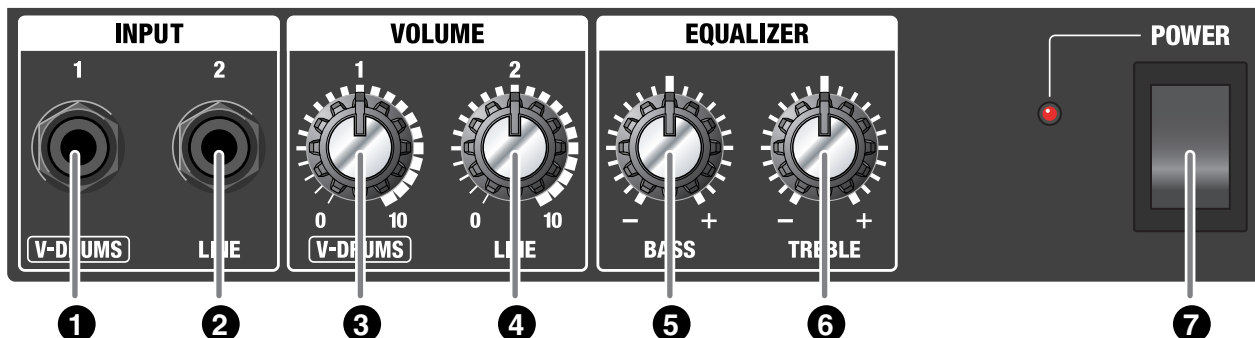
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。全体を均一の力で拭きます。同じ所ばかり強くこすると、仕上げを損なう恐れがあります。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

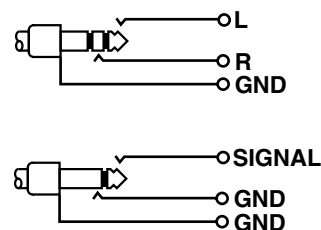
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。
- 接続には、当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。
  - ○ 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

❶ V-DRUMS インプット・ジャック
ドラム音源を接続します。
※ Roland「V-Drums」の音源に適した音質です。

❷ LINE インプット・ジャック
CD/MD プレイヤーや楽器などを接続し、ドラムと同時に鳴らすことができます。
※ Hi-Fi オーディオに適した音質です。

❶V-DRUMS インプット・ジャック／❷LINE インプット・ジャック

本機はステレオ標準タイプの端子を装備しており、モノ／ステレオの両方に対応しています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。

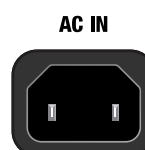
※ ステレオ・タイプの標準プラグを接続する場合でもスピーカーの出力はモノになります。

❸ V-DRUMS ボリュームつまみ
V-DRUMS インプット・ジャックに接続した機器の音量を調節します。

❹ LINE ボリュームつまみ
LINE インプット・ジャックに接続した機器の音量を調節します。

❺ BASS つまみ
低域を調節します。右にまわすと強調され、左に回すとカットされます。

❻ TREBLE つまみ
高域を調節します。右にまわすと強調され、左に回すとカットされます。

❼ POWER（電源）スイッチ
電源をオン／オフします。オンにするとインジケーターが点灯します。

❽ AC インレット
付属の電源コードを接続します。外れないように確実に装着してください。

※ 本機は、出力レベルの低いドラム音源にも対応できるよう入力感度を高めに設定しています。そのため、出力レベルの高いドラム音源（TD シリーズ）を接続した場合、音量を上げ過ぎると音が歪むことがあります。

接続のしかた／電源の入れかた

接続方法

※ 正しく接続したら、必ず次項「**電源の入れかた／切りかた**」の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってから接続してください。

ご注意!

抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、INPUTに接続した機器の音量が小さくなることがあります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCSシリーズなど）をご使用ください。

電源の入れかた／切りかた

1

PM-10および各接続機器の音量つまみがすべて0になっていることを確認します。

2

V-DRUMSインプット・ジャック、 LINEインプット・ジャックに接続した機器の電源を入れます。

3

PM-10の電源を入れます。

※ 音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っていても電源を入れるときに音がすることがありますが故障ではありません。

ご注意!

この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

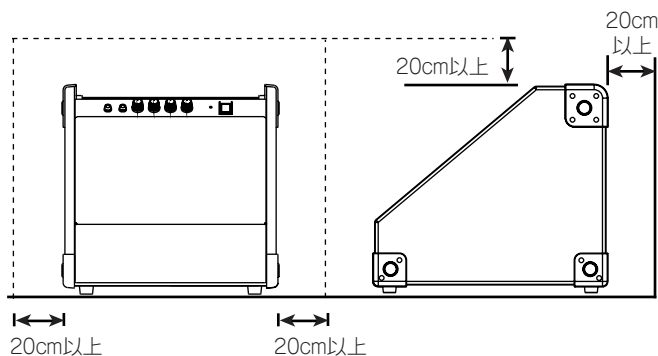
4

各機器の音量を調節します。

電源を切るときは、各機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと逆の手順で電源を切ります。

資料

設置についてのご注意

- この機器の動作中は、天面パネルが高温になりますので、直接手で触れないでください。
- 本機の上面にものを置かないでください。
- 本機を横倒しにしたり、上下逆さに設置したりしないでください。
- 本機は壁から 20cm 以上離して設置してください。

※ 設置については、**使用上のご注意**の**設置について**（P.4）もあわせてお読みください。

主な仕様

- **定格出力**
  30W
- **規定入力レベル／入力インピーダンス**
  V-DRUMS インプット： 0dBu/20kΩ
  LINE インプット： 0dBu/20kΩ
- **スピーカー**
  10"（250mm）ウーファー＋ 3"（77mm）ツィーター
  （コアキシャル、2 ウェイ）
- **エンクロージャー**
  バスレフ方式
- **コントロール**
  V-DRUMS ボリュームつまみ
  LINE ボリュームつまみ
  BASS つまみ
  TREBLE つまみ
  電源スイッチ
- **インジケーター**
  電源
- **接続端子**
  V-DRUMS インプット・ジャック（ステレオ標準タイプ）
  LINE インプット・ジャック（ステレオ標準タイプ）
- **電源**
  AC100V（50/60Hz）
- **消費電力**
  36W
- **外形寸法**
  364（幅）× 396（奥行）× 352（高さ）mm
- **質量**
  12kg
- **付属品**
  取扱説明書
  保証書
  電源コード

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書の英語版（有料）をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。
If you should require an English Owner’s Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

ローランド株式会社

C5100026 2PR